

こっこめ通信 02 2018

「島の名を」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

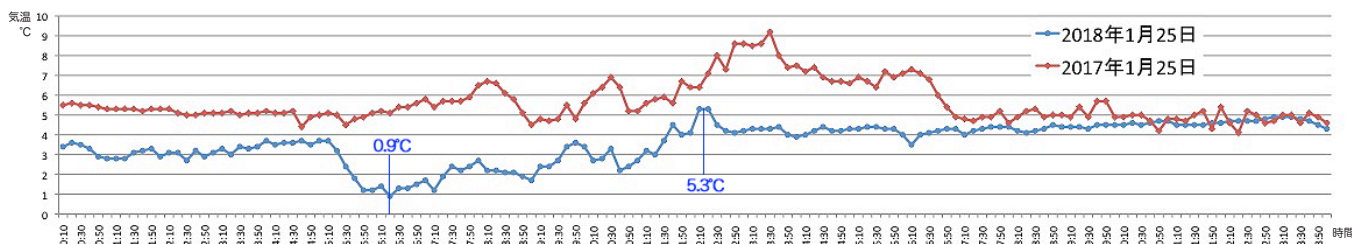
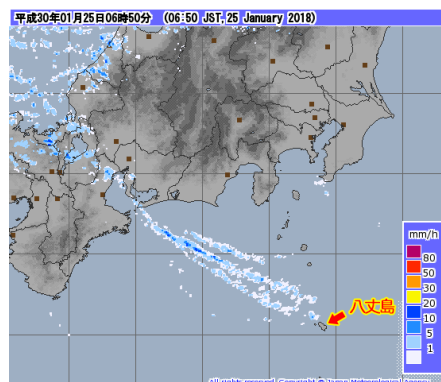
2009年10月1日から八丈島測候所は八丈島特別地域気象観測所に改められ、職員が駐在しなくなっています。それに伴い降雪の記録がされなくなっていました。それまでは3cmという降雪の深さの記録がありますが、この先3cmを超える降雪があったとしても記録には残らないということになります。降ってきたものが霰か雪かも人が判断していたということです。ビジターセンターで独自に記録でもしましょうか？

さて、今回は「最強寒波がやってきた？」と「オオシマとハチジョウ」についてのお話です。

最強寒波がやってきた？

東京都心の最低気温が48年ぶりに氷点下4℃を観測した25日、寒波は八丈島まで南下して一日中気温は上がりませんでした。八丈島特別地域気象観測所の25日の最低気温は午前6時20分に0.9℃、最高気温は午後0時10分に5.3℃を記録していますが、平均5m/sの冷たい西の風が吹き続けていたため体感的には氷点下を感じる寒さでした。昨年の1月25日も寒かったのですが、その日の気温と比べてみても気温が上がっていないことが分かります(下グラフ)。

また、冬型の気圧配置になると若狭湾から関ヶ原を抜けて雨雲が海上を流れてくるのですが、今回はハッキリと八丈島まで伸びていたのが雨雲レーダーからも分かりました(右図)。気温が低いため流れ込んだのは雪雲で、降ってきた雪や霰により八丈富士や三原山にはかなりの積雪があり、山への道は翌日26日まで通行止めになっていました。



今回の寒波は凄かったのか？直近12年の最低気温と過去に記録した最低気温を気象庁の過去の気象データ検索から調べてみました(右表)。ここ数年は氷点下の記録がありませんが、2003年に測候所が標高の高い場所に移動している影響があるかもしれません。1月をピンクに塗って見ましたが、やはり多いですね。

過去の最低記録では氷点下になっている日が9日あり、1981年と1997年は平地でも積雪の記録があります。1997年は約7億3,800万円の園芸被害もでています。

気温を見比べると今回は八丈島では最強寒波ではなかったようですが、寒さは数日間続き辛かったです。

直近12年の日最低気温と記録した日

2017年	0.8℃	01月15日
2016年	1.3℃	01月25日
2015年	2.3℃	02月14日
2014年	2.5℃	01月20日
2013年	3.0℃	01月28日
2012年	1.0℃	02月03日
2011年	0.8℃	01月16日
2010年	2.1℃	02月06日
2009年	3.4℃	01月17日
2008年	1.2℃	02月18日
2007年	4.4℃	03月20日
2006年	0.2℃	01月07日

日最低気温の低い気温と記録した日
(1906年から2018年まで)

1位	-2.0	1981年02月27日
2位	-1.8	1997年01月22日
3位	-1.3	1923年01月02日
4位	-0.5	1936年01月18日
5位	-0.3	1981年02月26日
6位	-0.3	1918年02月19日
7位	-0.2	1913年02月11日
8位	-0.1	1941年02月01日
9位	-0.1	1930年02月12日
10位	0.0	1984年02月07日

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

オオシマとハチジョウ

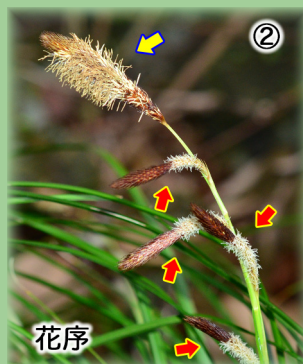
植物や昆虫などの生きものは初めて見つかった場所や生息する場所から名前が付くことが多いです。伊豆諸島では、伊豆大島の“オオシマ”と八丈島の“ハチジョウ”の名前が付いた植物がたくさんあります（オオシマの場合、他の大島を指すこともあり）。今回はその島の名が付いたカヤツリグサ科スゲ属の2種を紹介します。

オオシマカンスゲ

Carex oshimensis Nakai



全体(2007.1.26)



花序



小穂



葉

分布は伊豆半島と伊豆諸島（伊豆大島から青ヶ島までの各島々）。日本固有種。海岸近くから山頂付近まで、あまり環境を問わずに見られます。

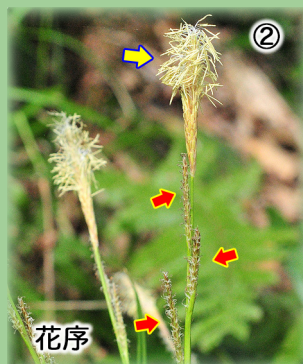
写真②：花茎は20～50cm、頂小穂（黄矢印）は雄性、側小穂（赤矢印）は3～5個付き雌雄性で上部に雄花部があります。花期は2～3月。写真③：果胞は茶色の鱗片が長く見えにくくなっています。写真④：葉は常緑で幅が3～6mm。断面はV字。

ハチジョウカンスゲ

Carex hachijoensis Akiyama



全体(2007.3.28)



花序



小穂



葉

分布は八丈島と御蔵島。日本固有種。八丈富士や三原山のカルデラ内や山頂付近で見られます。

写真②：花茎は20～40cm、頂小穂（黄矢印）は雄性、側小穂（赤矢印）は2～3個付き雌性。花期は3～4月。写真③：果胞は熟すと大きく膨らみ目立ちます。写真④：葉は常緑で幅が3～8mm。断面はM字。

環境省レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類・富士箱根伊豆国立公園指定植物に指定されています。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 1 月 14 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 30 年第 1 回）調査者：沖野、青木、川上、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			11	ハゼノキ	新葉と蕾
1	アオノクマタケラン	熟した実	12	ハチジョウキブシ	花芽
2	アシタバ	実	13	ヒサカキ	蕾
3	アツバスマシ	閉鎖花	14	ホウライカズラ	熟した実
4	イワニガナ	花	15	マサキ	熟した実
5	ウスベニニガナ	花と実	16	ヤツデ	実
6	オオシマカンズグ	蕾	17	ヤブツバキ	花
7	オオバコ	蕾			
8	オニタビラコ	花と実	シダ植物		
9	キランソウ	花	1	ウチワゴケ	葉が閉じている
10	シチトウスミレ	花	2	オオイタチシダ	
11	ススキ sp.	実	3	オオタニワタリ	胞子が飛散
12	ツルソバ	花と実	4	オニヤブソテツ	
13	ツワブキ	花と実	5	タチクラマゴケ	紅葉
14	ノコンギク	実	6	タチシノブ	栄養葉
15	ノジスミレ sp.	花	7	タマシダ	ほぼ落葉
16	ハチジョウアザミ	花と実	8	ナチシケシダ	
17	ハナイバナ	花	9	ノキシノブ	
18	ヒメクグ	実	10	ハカタシダ	衰弱
19	フウトウカズラ	熟した実	11	ハチジョウカナワラビ	
20	ムラサキカタバミ	花	12	ハチジョウシダ	
			13	ハチジョウベニシダ	
木本			14	ヒトツバ	胞子葉が目立つ
1	アオキ	実の虫こぶ	15	ホシダ	塩害が顕著
2	アカメガシワ	冬芽	16	ホラシノブ	
3	イヌビワ	実	17	マツバラシ	
4	オオバヤシャブシ	実	18	マメツタ	
5	ガクアジサイ	実	19	ミゾシダ	塩害が顕著
6	サカキカズラ	実	20	ヤマイトチシダ	
7	スダジイ	虫こぶが割れる	今回はシダ植物 20 種を含む 57 種の植物を観察しました。久しぶりにトラツグミやアカハラの姿を双眼鏡でじっくり観察できたので行事としては盛り上がりました。		
8	タイミンタチバナ	蕾			
9	タブノキ	葉の虫こぶ			
10	ツルグミ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内で見られる「ハチジョウカナワラビ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウカナワラビ

Arachniodes davalliiformis

オシダ科のシダ植物。伊豆諸島固有種で八丈島・青ヶ島のみ分布。

八丈島でも三原山側のやや乾燥した林縁の斜面地でだけ見られます。常緑性で葉は長さ 60cm 前後にもなります。3 回羽状、上部はホコ状になり、葉質は硬く、表面に光沢があります。

2018 八丈ビジターセンター 2 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 ガイドウォーク
				06:26 17:20 11:49	06:59 18:04 12:27	07:29 18:47 13:04
立春 4 ガイドウォーク	5	6	7	8	9	10 ガイドウォーク
07:56 19:30 01:16 13:43	08:21 20:16 01:48 14:23	08:45 21:08 02:18 15:10	09:11 22:26 02:47 16:10	09:44 23:54 03:18 17:31	10:34 00:03 04:02 19:03	12:06 03:14 06:18 20:16
11 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	12 ガイドウォーク	13	14	15	16	17 ガイドウォーク
04:01 13:41 08:36 21:07	04:31 14:44 09:38 21:47	04:58 15:30 10:16 22:22	05:23 16:09 10:47 22:54	05:47 16:45 11:14 23:24	06:11 17:19 11:42 23:54	06:35 17:54 12:11 00:03
18 ガイドウォーク	雨水 19	20	21	22	23	24 ガイドウォーク 八丈学講座 「春探しホテル水路 ウォーク」
06:59 18:30 00:23 12:42	07:24 19:09 00:53 13:15	07:49 19:51 01:24 13:51	08:15 20:41 01:55 14:34	08:42 21:48 02:28 15:26	09:15 23:38 03:06 16:38	10:03 04:00 18:09
25 ガイドウォーク	26	27	28			
02:12 11:39 06:14 19:39	03:34 13:32 08:38 20:48	04:18 14:48 09:42 21:42	04:53 15:46 10:24 22:28			

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
2 / 11 (13:30 ~ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名

特別講演会

「小笠原の自然！暮らし！東京都レンジャー！」

東京都小笠原レンジャーが小笠原の暮らしと自然と東京都レンジャーについて紹介します！
2 / 22 (19:00 ~ 約1時間)
小学生以上（小学生は保護者同伴） ビジターセンターにて 参加費：無料 定員：55名

八丈学講座

「春探しホテル水路ウォーク」

毎月行っている八丈学講座。ホテル水路や和泉親水公園で芽吹き始めた植物などの春を探します。
2 / 24 (13:30 ~ 約1時間半)
中学生以上 和泉親水公園集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00 ~ 八丈・海・生きものたち

11:00 ~ おじゃりやれ 八丈島

14:00 ~ おじゃりやれ 八丈島

15:00 ~ おじゃりやれ 八丈島

16:00 ~ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2018.2.1 第201号

開館時間 9:00 ~ 16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

数日前から25日に雪は降るだろうと予想していました。1997年に2cmの雪が積もった時のようになるだろうか？そうなれば子供たちは雪合戦だな～と思っていましたが平地に雪は積もらず。島の西側を北上している暖かな黒潮の所為？予想は難しいです。（高）